

資料紹介

歴史分野資料紹介「熊本昭和町並図」

特別展「追憶の熊本～画家・甲斐青萍が描いた熊本城下の記憶～」(詳細は本紙「特別展案内」をご参照ください)の出陳作品より、昭和初期の熊本市街中心部を描いた「熊本昭和町並図屏風」をご紹介します。本作品は熊本出身の画家・甲斐青萍が、自身の記憶をもとに描きあげたもので、およそ昭和15年ころの様子をモデルとしているようです。現在も多くの車が行きかう電車通り沿いに注目すると、右隻右端には市役所(旧庁舎)、逓信局、左隻新市街付近には銀丁百貨店、世界館(映画館)など、今となっては見る事ができない建物が描かれています。このほか、市街地を縦横する道筋には多くの人びとがあふれ、当時のにぎわいを感じられるようです。ぜひ、展覧会場で実物を細部まで鑑賞ください。



熊本昭和町並図屏風(個人蔵)

博物館からのお知らせ

今後の展示会(予定)

生命のれきしー君につながるものがたりー
12月3日(火)～2020年1月26日(日)

学校を飛び出した先生、熊本に来る
ー民俗学者・宮本常一と昭和の宿題ー
2020年2月8日(土)～2020年3月22日(日)

プラネタリウム放映番組

星屑の鉱石ラジオ
ー宇宙の創生インフレーション理論ー
9月12日(木)～12月1日(日)



熊本博物館
KUMAMOTO CITY MUSEUM

くまはくNEWS LETTER Vol.3
発行 熊本博物館
〒860-0007 熊本県熊本市中央区古京町3-2
TEL.096-324-3500 FAX.096-351-4257
kumamoto-city-museum.jp



くまはく

NEWS
LETTER

Vol. 3



[熊本城特別公開記念]特別展

追憶の熊本
RECOLLECTIONS
of KUMAMOTO

ー画家・甲斐青萍が描いた熊本城下の記憶ー

2019年10月5日(土)～11月24日(日)

旧制・熊本中学校の美術教師を務めた画家・甲斐青萍(1882-1974)が描いた熊本の町並図を中心に、関連する様々な資料を交えながら熊本城下の歴史の変遷をたどります。

2019年10月

- 特別展案内
- イベント報告
- 博物館からのお知らせ
- 企画展報告
- 資料紹介

熊本博物館
KUMAMOTO CITY MUSEUM



肥後の見張り番
しゃちべえ

特別展案内

熊本城特別公開記念
追憶の熊本—画家・甲斐青萍が描いた熊本城下の記憶—

江戸時代には武家屋敷などが広がっていた熊本城下は、明治から昭和にかけてその姿を大きく変えながら今日に至っています。変わりゆく熊本城下の町並みと人々の営みを記憶から呼び起こし、つづさに描いた画家がいます。旧制・熊本中学校（現在の熊本県立熊本高等学校）の美術教師を務めた甲斐青萍（本名：英雄/1882-1974）です。本展では青萍が描き残した江戸から昭和に至る熊本城下の町並図や風俗画、スケッチを手がかりに、熊本城下の成り立ちや近代以降の変遷をたどります。

【観覧料】一般500円(400円)、大学生・高校生400円(300円)、小・中学生300円(200円)
※()は団体料金。未就学児は無料。 ※上記料金とは別に博物館入場料が必要です。

主催 熊本博物館
後援 熊本日日新聞社、熊本放送、FM791、熊本県文化協会、熊本県博物館連絡協議会、上通商栄会、下通繁栄会、熊本市新市街商店街振興組合、熊本市中央繁栄会連合会、熊本市駕町通り商店街振興組合、安政町商興会、銀座通繁栄会、シャワ通り商店会、水道町親和会

<関連イベント> ※いずれも無料(ただし、博物館入場料が必要。特別展をご覧の場合は別途観覧料が必要)

①講演会「甲斐青萍が描いた熊本町並図から見えること」

日時:10月12日(土)13:30-15:30 場所:熊本博物館 講堂

講師:伊藤重剛(熊本大学名誉教授)

定員:50名(当日先着順、事前申込不要)



熊本明治町並屏風(部分) (有) 文林堂蔵

②熊本城下まち歩き「甲斐青萍が描いた場所を訪ねて」

日時:10月26日(土)13:30-15:30

集合場所:熊本博物館 講堂/解散場所:熊本市役所前(予定)

講師:伊藤重剛(熊本大学名誉教授)

定員:15名(当日先着順、事前申込不要)

※当日10時より熊本博物館受付にて整理券を配布します。



熊本昭和町並屏風(部分) 個人蔵

③講演会「熊本地震からの城下の復旧について」

日時:11月4日(月・振休)13:30-15:30 場所:熊本博物館 講堂

講師:富士川一裕(NPO法人熊本まちなみトラスト事務局長)

定員:50名(当日先着順、事前申込不要)

④展示解説

日時:10月5日(土)、11月2日(土)、11月9日(土)、11月23日(土) 各回/14:00~約40分

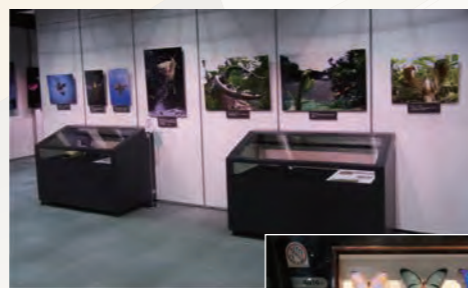
場所:熊本博物館2階 特別展示室1・2・3

定員:各回20名程度(当日先着順、事前申込不要) ※博物館入場料のほかに本展観覧料が必要です。

展示会報告

夏期特別展『世界の昆虫』

夏休み期間に合わせ、特別企画展「世界の昆虫」を開催しました。故三宅純男氏によって収集された昆虫標本コレクションと、写真家の栗林慧氏による昆虫写真、それらを撮影したカメラの展示などを行いました。チョウの部屋(特別展示室1)では、世界中のチョウのほか、バッタのなかまやセミのなかまなども展示しました。甲虫の部屋(特別展示室2)では、定番のカブトムシ・クワガタムシ類のほか、多様なハナムグリ類やプラチナコガネなどが人気で、世界一大きなカミキリムシ「タイタンオオウスバカミキリ」は大人も子供も多くの人が自分の手の大きさと比べる様子が見られました。特別展示室3の栗林慧氏の映像コーナーは常に満席に近い状態で、氏の商売道具であるカメラの展示は特にメカ好きの大人たちには大人気でした。海外の昆虫中心の展示でしたが、会場では身近な昆虫についての質問もたくさんいただき、足元の自然に目を向けるきっかけとなったのではないかと感じられました。



イベント報告

天文講演会「宇宙の不思議:ブラックホール」

2019年7月7日(日)

夏の天文講演会として、熊本大学大学院理学研究科の小出眞路氏をお迎えし、今年4月に話題となったブラックホールの撮像観測からブラックホールの天体現象、今後の観測で期待されるものなどについてお話いただきました。

講演会開催日の七夕にちなんだお話から始まり、天の川銀河、天の川銀河の中心にあるブラックホール、そして4月に撮影されたブラックホールについて…とブラックホールの基礎から最新の情報まで知ることができる密度の濃い講演となりました。最新のブラックホール研究の話題ということもあり、一部難易度の高い内容も含まれましたが、講演終了後の質疑応答の時間では、昔読んだブラックホールの本の内容と比べて研究が大きく進んだことに驚く声や、ブラックホールの質量と大きさの関係についての質問などが上がりました。閉会後も小出氏の周りには、質問のために多くの参加者が集まれ、ブラックホールへの関心の高さがうかがえました。



夏休み化石観察会

2019年7月27日(土)

今回、熊本博物館がリニューアルして初めての化石観察会でしたが、定員の倍以上のお申込をいただき、大型バス満席での観察会となりました(抽選に漏れてしまった皆様、ごめんなさい)。当日は快晴で真夏の強い日差しの中、バスは一路天草へ。道中にも地形や地質の見どころがたくさんあり、車窓越しにポイントを解説しながら目的地に向かいました。化石の入った石が転がっている海岸に着くと、どなたも待ちきれない様子だったので早速観察開始!グリキメリスなどの二枚貝やアンモナイト、花のような形のウミユリの茎など、つぎつぎと化石が見つかり、あっという間に時間が過ぎていきました。ピンクの花をつけたハマナタメヤ、石に穴をあけたニオガイの殻など、さまざまな海辺の生物も観察することができ、夏休みの序盤にぴったりの観察会となりました。



夏休み自由研究相談会

2019年7月20日(土)・8月17日(土)

博物館の休館に伴い休止していた自由研究相談会を今年から再開!リニューアルオープン後、初の開催となりました。7月に行われた1回目では、自分で決めたテーマについて、どのような方法で進めたらよいか、どんな資料を使えばよいかなど、それぞれ準備してきた質問を、みなさん熱心に各分野の学芸員に相談していました。8月の2回目では、昆虫、貝、化石、岩石などあらゆる分野の専門家や大学の先生方にもご協力いただき、参加者のみなさんから寄せられたいろいろ質問にお答えしました。夏休み中に採集した昆虫や化石の標本を持参して、名前を覚えてもらったり、まとめ方についてアドバイスをもらったりしながら、一生懸命メモをとっている様子が見られました。



夏の体験イベント:サイエンスフェスタ2019

2019年8月25日(日)

熊本高等専門学校(熊本キャンパス&八代キャンパス)との共催事業で、5つのブースを出展。①「作って鳴らそう電子ピアノ!」、②「風船割りロボコン・ミニチュア操縦体験」、③「空中に自由に絵が描ける!~3Dペン体験~」、④「ミニミニ科学館」、⑤「折り紙、風船で遊ぼう!」というテーマで、楽しい科学実験や科学工作の場を設けました。マイコンを使った電子工作や実際に開催されたロボコン競技の解決課題をミニチュアロボットで体験するブース、融けたプラスチックがペン先から出てくる3Dペンで立体模型を作ったり、『見て・触って』科学の不思議を実感したりすることができる教材・教具を展示・実演するブースなどが盛りだくさん。各会場には子どもから大人まで、多くの笑顔と驚きの表情があふれ、夏休みの最終日を大いに楽しんでもらいました。

